

## 高知の未来を「こっから。」変える！～こうちの脱炭素スタートサイトの挑戦～

### 取組のあらまし

取組団体	高知県
取組内容	地球温暖化対策の一環として、脱炭素への第一歩を支援するサイト「こっから。」を開設。専門知識がなくても学べる情報発信、事業者の取組の見える化等によって、地域全体で持続可能な社会の実現をめざしている。
推進体制	12名（令和7年度）
予算等	サイト構築：14,000千円（令和5年度） サイト運用保守：6,317千円（令和6年度） サイト運用保守：3,794千円（令和7年度）

## 1 高知県の概要

人口	664,863人	令和7年1月1日現在（住民基本台帳人口）
職員数	3,466人	令和6年4月1日現在（一般行政部門：教育部門等の事例は各々の人数）
総面積	7,102.28 km <sup>2</sup>	令和7年10月1日現在（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」）

図表 1 高知県の位置図



出典：高知県ホームページ

## 2 取組の背景・目的

### (1) 「こうちの脱炭素スタートサイト「こっから。」」の設立に至った経緯

地球温暖化の進行により、異常気象の多発や生態系の変化、農業や水産業への影響など、我々の暮らしは多方面にわたり脅かされている。高知県も例外ではなく、特に極端な高温や豪雨などの自然災害リスクを抱える地域として、より一層の気候変動の影響への対策が求められている。

このような中、2020年10月に、国が「2050年カーボンニュートラル」の実現を表明したことを受け、高知県でも2020年12月に、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいくことを宣言した。

その具体的な取組の道筋を示すものとして、「高知県脱炭素社会推進アクションプラン」（以下「アクションプラン」という。）を策定し、「2050年カーボンニュートラルの実現」と「経済と環境の好循環」の創出に向け、県民・事業者・行政等が一丸となった「オール高知」での取組を推進している。

一方、脱炭素の内容は専門性が高く、一般の方や中小企業事業者にとっては、身近なこととして捉えづらく、「何から始めればよいかわからない」・「自分たちにできることが見えない」といった声が根強い。

こうした課題を解消する施策の一環として立ち上げられたのが、「こうちの脱炭素スタートサイト「こっから。」」（以下「こっから。」という。）である。

「こっから。」は、脱炭素への第一歩を「こっから」始めるという意味を込めて名付けられており、地域全体で脱炭素に取り組むためのプラットフォームとして、県民・事業者双方を支援する役割を担っている。その最終的な目的は、地域経済と環境の好循環による持続可能な社会の実現であり、特に県内における脱炭素の機運を醸成し、具体的な行動へとつなげることにある。

## 3 取組内容

「こっから。」では、県民や事業者が実際に行動を起こすための情報発信におけるさまざまな工夫がされている。

### (1) わかりやすい情報発信と知識の普及

サイトでは、脱炭素やカーボンニュートラルの基本的な解説をはじめ、「なぜ地球温暖化が問題なのか」・「高知県がどのような影響を受けるのか」といった問いに答えるコンテンツが掲載されているとともに、まんがや動画などのコンテンツによって、学びの入り口をさらに

低くし、子どもから高齢者まであらゆる世代が楽しみながら学べる環境づくりも進められている。これにより、専門知識のない県民でも気軽に学ぶことが可能である。

また、自宅の省エネ化、太陽光発電導入の支援制度、県内事業者の脱炭素対応に関する情報も提供されており、個人・法人問わず幅広い層の脱炭素につながる行動を促している。

図表 2 まんが動画の例



その1 「地球温暖化って？」

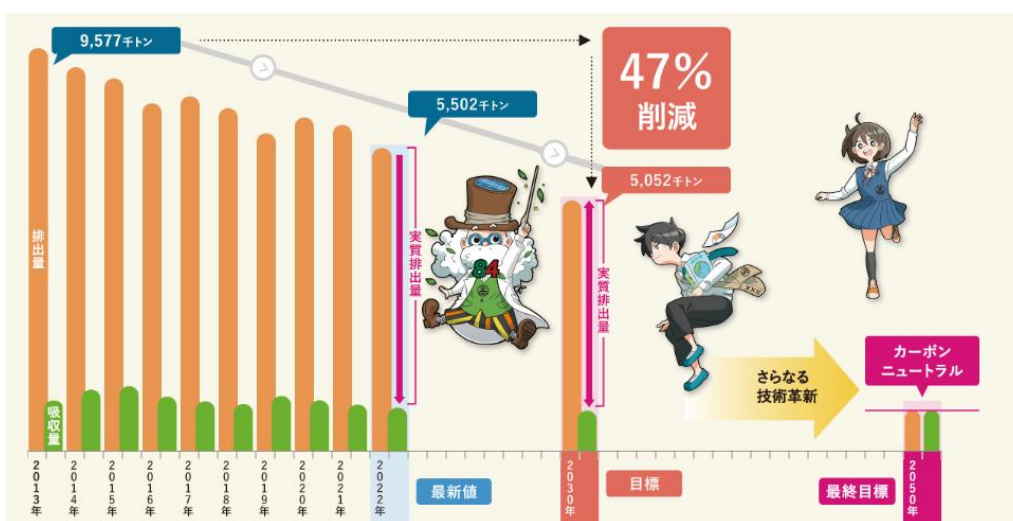
その2 「カーボンニュートラルとは？」

その3 「わたしたちにできること」

出典：こっからの脱炭素スタートサイト「こっから。」

加えて、高知県による「アクションプラン」の取組についても紹介しており、カーボンニュートラルの実現に向けた基本的な考え方や温室効果ガスの排出量削減目標、取組内容などをわかりやすいイラストを使いながら紹介している。

図表 3 温室効果ガスの排出量削減目標を可視化するイラスト



出典：こっからの脱炭素スタートサイト「こっから。」

## (2) 脱炭素に取り組む事業者の見える化

「こっから。」には、高知県内で脱炭素に取り組む企業や団体が「こっから脱炭素パートナー」として登録されており、その具体的な活動や理念が紹介されている。加えて、これらの事業者が提供する環境配慮型の製品・サービスは、「こっからグリーン製品・サービス」として登録されており、県民がそれらを選択・購入することで、間接的に脱炭素活動に貢献できる仕組みが整えられている。

この見える化は、地域の中での好循環を促すものであり、環境配慮が企業価値として認識されるようになることで、県内経済の脱炭素化に弾みをつけようとするものである。さらに、「いいね」機能を通じて、県民からの応援を可視化することで、事業者のモチベーション向上にも寄与している。

## 4 成果・課題

### (1) 取組の成果

「こっから。」は、高知県民及び県内事業者が、自らの生活や事業活動の中に脱炭素の視点を取り入れるための“入り口”として、大きな可能性を秘めている。脱炭素社会の実現には、一部の行政や先進的な企業のみならず、地域全体の意識改革と日常的な行動の積み重ねが必要不可欠である。そうした中で、「こっから。」は、地球温暖化による気候変動を「遠い世界の話」から「自分ごと」へと変換する役割を果たしている。

サイト開設以降、県内の企業や団体からの関心が高まり、「こうち脱炭素パートナー」として登録する事業者が増加している。また、令和6年度には「こうち脱炭素パートナー」に登録している事業者や、脱炭素に向けた取組を推進している市町村に関する特集記を公開している。これにより、環境配慮型製品・サービスの流通が進み、県民の脱炭素に関する情報への関心にも、一定の変化が見られるようになってきた。

特に重要なのは、これらの取組を通じて「脱炭素は難しいことではない」「自分にもできる」といった認識が広がりつつある点である。このような価値観の変化は、制度だけでは実現できない持続可能な地域社会の土台となることが示唆される。

### (2) 課題

一方で、「こっから。」の存在や機能について、十分に周知されているとは言い難い。特に、高齢者層やデジタルに不慣れな層にとっては、Webサイトによる情報提供には限界があるため、新聞広告等の紙媒体や対面での説明会など、多様なチャネルを用いた広報活動が求められる。

また、脱炭素パートナーの裾野をさらに広げるには、中小企業への個別支援や、登録後のフォローアップ体制の強化も課題として浮上している。単なる情報の登録にとどまらず、実質的な行動変容や効果測定までを視野に入れた取組の深化が必要である。

## 関連・参考資料

こうちの脱炭素スタートサイト「こっから。」

<https://cn-portal.pref.kochi.lg.jp/>

高知県ホームページ「こうちの脱炭素スタートサイト「こっから。」開設しました！」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024013100074/>